

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	曽根丘陵公園	所管課	都市計画課
所在地	甲府市下向山町1271	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年
管理方式	指定管理者(富士観光開発・富士グリーンテックグループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	以下に掲げる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮していくこと。 ・良好な緑地景観、環境を提供すること。 ・歴史文化を学ぶ場を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	方形周溝墓広場、芝生広場、ふれあい広場、野外ステージ(野外研修施設)、 バーベキュー施設、花の広場、歴史植物園、自然観察路、日本庭園、緑地、園 路、駐車場		
主な業務内容	① 施設、備品の管理運営業務 ② 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ③ 県が実施するイベント等への協力		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	268,300	199,268	237,360	
	バーベキュー場利用者数	1,595	1,670	2,115	
	利用者数合計	268,300	199,268	237,360	
	目標値	135,000	223,800	223,800	238,000
	目標値設定の考え方	H18年度の3%アップを見込む	昨年度実績から、ナスカ展入場者数を減した数より3%増加を見込む	目標人数を達成できなかったため、H20年度の目標値と同じとする。	昨年度の実績値を、達成の目標とした。
	対19年度比	100.0%	74.3%	88.5%	88.7%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	67,009,000	67,408,000	67,408,000	67,458,000
	その他	0	200,000	114,744	200,000
	収入合計(A)	67,009,000	67,608,000	67,522,744	67,658,000
支出	人件費	5,781,724	12,200,000	14,360,000	12,200,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	61,244,144	55,408,000	52,339,232	55,458,000
	(うち外部委託費)(B)	50,405,021	49,358,000	24,600,683	49,358,000
	支出合計(C)	67,025,868	67,608,000	66,699,232	67,658,000
収支差額(A-C)		-16,868	0	823,512	0
外部委託比率(B÷C)		75.2%	73.0%	36.9%	73.0%
利用者一人当りの経費		336	301	284	#DIV/0!

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月~22年3月、実施方法:公園利用者へのアンケート、回答数:195人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①良好な緑地環境の提供	68.0%	30.0%	2.0%	0.0%
②遊び、憩いの場の提供	63.0%	36.0%	1.0%	0.0%
③バーベキュー施設等	53.0%	42.0%	5.0%	0.0%
④広報	38.0%	55.0%	7.0%	0.0%
⑤接客等	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	54.8%	42.2%	3.0%	0.0%

利用者の意見	公園の宣伝を発信してほしいとの意見が多い。
利用者の意見への対応	ホームページを利用する等の広報活動を積極的に行う。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の保守管理は老朽化している箇所が多いため、日常の点検等において経年劣化による不具合がないか注意し、必要に応じた予防措置や初期対応を行った。	適切な日常管理、定期管理がされている。 施設の点検等も専門業者に委託を行い、修繕等の対応を適切に行っていた。
運営業務	当公園の特性を十分認識して、緑の広い空間や遊歩道整備、バーベキュー場など公園管理運営における理念が確立できた。	業務計画書のとおり日常点検、定期点検が行われ、適切に運営管理が行われている。特に、植栽管理を徹底し、快適な環境を提供していた。
自主事業	イベントや研修センターと連携し遺跡の説明などを実施した。	考古博物館等関連機関と連携を図り運営を行っていた。
利用状況	緑の広い芝生空間や遊歩道や展望広場の整備などをして、利用者数の底上を目標とした。	植栽管理等を徹底し、快適な環境を提供したことやイベントを実施したことが利用者の増加につながった。
収支状況	公園スタッフ全員で、経費節減に取り組んだ。	経費等を節約した管理運営が行われていた。
利用者満足度	管理体制を整えて、常時植栽管理を徹底していることが満足度に表れた。公園の利用人数は確実に増えているが、もう少し宣伝効果を充実させ利用者に発信していく。	植栽管理の徹底が、満足度にも反映されている。利用者の意見にもあるように、ホームページを利用する等の広報活動を積極的に行う必要がある。
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標</p> <p>入園者数 目標値 223,800人 → 実績値 237,360人</p> <p>バーベキュー場利用者数 目標値 2,000人 → 実績値 2,115人</p> <p>入園者数、バーベキュー場利用者数ともに目標値を上回り、目標を達成できた。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	公園利用者数・バーベキュー場利用者数について、植栽管理や清掃管理を徹底し、快適な環境を提供したことが増加につながった。今後も広報活動の強化により利用促進に努める必要がある。また、施設の老朽化が進んでいるため、施設等の維持管理を強化すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕において、迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施していた。	

7. 管理体制(組織図)



